茶ぐわ～ゆんたく 188

お茶を飲みながら、ぎのわんの歴史をのぞいてみませんか？

かつての十字路、今の十字路 ～愛知カジマヤー～

写真1は、宜野湾小学校向かいの通りを200メートル程行くと、差し掛かる「愛知カジマヤー」と呼ばれる交差点です。

この道は戦前からある通りです。このカジマヤーに隣接していたサンカクーマーチュー(三角松林)は、かつては青年達のモウアシビ(毛遊び)の場所であり、子ども達が学校へ団体登校の際の集合場所でもありました。また、戦時中は、日本軍がカジマヤーにトラックで乗り付け、住民からイモを供出させていました。

このカジマヤーから愛知区公民館側へ向かうと「まつぼっくり公園」があり、入口には黒牛のモニュメントがあります(写真2)。この公園広場はかつて、ウシナー(闘牛場)でもありました。また、ウシナーへ向かう途中には、今の公民館にあたるムラヤー(村屋)もありました。

次にカジマヤーから南側の筋道を行くと、そこは「フッチャヌサチー」と呼ばれる標高が高くて見晴らしが良い場所があり、戦前は本土への出稼ぎや出征兵士等の船を見送るフナウクイ(船送り)の場所でした(写真3)。

このように愛知カジマヤーの周辺には、いろんな歴史が残されています。今ではカジマヤー周辺も家々が建ち並び、すっかり変わりました。小学校の登下校時には、子ども達が緩い坂道を、せっせと歩く光景が見られます。愛知カジマヤーは、戦前から今を通して変わることなく、地域の人びとを見守ってくれるそんな感じをさせてくれます。

【問合せ】
市立博物館870－9317

◀写真1
愛知カジマヤー
2019(令和元)年

右側手前の角に、サンカクーマーチューがありました。左側の筋道がフッチャへと続く道。

▲写真2
まつぼっくり公園入口にある黒牛のモニュメント　2019(令和元)年

▲写真3
フッチャヌサカから見たフッチャムイ(右側奥の緑地)　2019(令和元)年

はくぶつかんの部屋 53

宜野湾市の歴史や文化などを紹介します。

市立博物館
イメージキャラクター
天女ちゃん

最新の技術で 普段は行けない場所に！

市立博物館では、10月30日より企画展「変わりゆく街並み～西普天間の移り変わり～」を開催しています。今後新たな街へ移り変わる西普天間は、昔はどんな場所だったのでしょうか。そして、どんな文化財が残されているのでしょうか。この企画展では、主に戦前の様子を中心として、縄文時代の遺跡からアメリカ人住宅が建ち並んでいた頃までの西普天間を紹介しています。

西普天間には、戦前人々に利用されていた湧泉(ゆうせん)や拝所、墓地などが今でも残されていますが、自由に入ることはできません。そのため、実物をご覧になるのは何年か先になるかも知れません。そこで、今回の企画展では、普段入れない西普天間の中にある文化財を、実際に間近で見て、散策する疑似体験ができる展示を用意しました。

皆さんは、VR(バーチャル・リアリティー)をご存知でしょうか？専用のゴーグルで、そこに見える風景をあたかも現実のように感じることができる技術です。企画展では、フトゥキャアブという洞穴や、イシジャーという谷の周囲に残る古いお墓に入る体験ができます。フトゥキャアブは喜友名の大事な聖地であるため、公園の共用が開始されても、自由に中に入れるとは限りません。また、実際の洞穴は真っ暗で足元も危険ですが、車イスに乗ったままでも安全に中の様子を体感することができます。

企画展は、12月22日(日)まで開催しています。VR体験は土日限定ですが、スタッフの都合で対応できない場合もあるので、事前にご確認いただき、遊びにいらしてください。

令和元年度ぎのわん教育月間関連行事
開館20周年記念企画展Ⅱ
「変わりゆく街並み ～西普天間の移り変わり～」

期間　12月22日(日)まで
時間　9時～17時
(入館は16時30分まで)
休館日　毎週火曜日
場所　市立博物館　企画展示室
入場料　無料

【問合せ】
市立博物館☎870－9317

▲VR体験の様子